






# 0歳児クラス 1月 第1回 「なーんだなんだ」

保…保育士 講…講師 ★…保育士が準備する教材

## シアタータイム

読み方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「なーんだ なんだ」のキーワードを繰り返す。 →掛け声と共に期待がもてるようにする。</li> <li>・「なーんだ なんだ」と腕を組む仕草をする。 →頭を左右に振り、考えるポーズを表現する。</li> <li>・「なーんだ なんだ」のリズムに合わせて手を叩く。 →子どもの両手を持ち、手拍子を行う。</li> <li>・「なーんだ なんだ♪」「パ・ン・ダ♪」リズムよく全員で身体を動かし、言葉遊びをする。</li> </ul>	教材	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>★絵本</li> <li>★iPad(シアターセット)</li> <li>ペープサート (パンダ)</li> </ul>	 	
導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パンダのペープサートを赤い画用紙で隠して登場。</li> <li>「なーんだなんだ」と言いながら、少しずつずらして耳や目を見せていきながら全部見せて「こんにちは、わたしよ！わかる？」</li> <li>「パンダさん！」等の会話を楽しんで、お話に繋げる。</li> </ul>	保育士の役割	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペープサート登場</li> <li>・会話をする</li> </ul>

## がくしゅうタイム

活動①	からだ	パンダに興味を持ち、耳シールを貼ることができる。	
設問	パンダさんに耳をつけてあげましょう。		
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保：トントントン「みなさんこんにちは」</li> <li>パンダカード（提示見本用に耳を付けておく）登場。</li> </ul>	教材	<ul style="list-style-type: none"> <li>パンダカード</li> <li>耳シール（2枚）</li> <li>先生用パンダカード</li> <li>先生用耳シール</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講：「パンダさんこんにちは」</li> <li>・保：「なんだか最近寒いわね…わたし風邪ひいちゃったみたい、ハックション」でパンダカードを裏返す（裏には耳の付いていないパンダカードをつけておく）</li> <li>・講：「あれ？なんか変だね」変だな…と思う言葉を掛ける。「大変！耳がないよ」「耳がないとみんなの声が聞こえないね」等、理由も伝える。</li> <li>・「つけてあげよう」「耳はいくつかな？」「皆の耳を数えてみよう」等で、耳の数を数える。「いち・に・あわせて2個」保育士は子供たちの耳を優しく触って数える。</li> <li>・「先生いいもの持ってるよ」耳シール提示し、耳シールを貼る見本を見せる。（指先でつまむ、ごみは皿に捨てる等）</li> <li>・「私たちもなんだか変なの…」子供たちのパンダカード提示。</li> <li>・パンダカードを渡し、耳がないことを確認して耳シールを貼る。（耳シールはきちんとした位置でなくても良い）</li> <li>・皆が貼れたら「できました！」等で頭の上で見せ合いっこして賞賛する。</li> <li>・パンダカードで少し遊び、「眠くなってきちゃった」等で、パンダカードを椅子の下に置くか先生たちで一旦集める。</li> </ul> <p>※少しずつ自分でできることが増える時期です。パンダカードを集める時に自分でひらかごに入れる。など子どもたちのできることを増やしていきましょう。</p>	保育士の役割	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パンダカード登場</li> <li>・パンダカード配布</li> <li>・目シール配布</li> <li>・言葉がけをする</li> <li>・子供たちのフォロー</li> <li>・賞賛</li> </ul>
活動②	生活	赤ちゃんパンダを抱っこしたり遊んだり楽しむことができる。	
設問	赤ちゃんパンダをお母さんに抱っこさせてあげましょう。		
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保：「エーンエーン」赤ちゃんパンダカードを抱っこして登場。</li> <li>・講：「あれ？誰か泣いてるね」</li> <li>・保：「この子が泣いてるの」等、赤ちゃんパンダカードを提示。</li> <li>・「ここにはお友達がたくさんいて、遊んでくれるから泣かないで」等で、</li> </ul>	教材	<ul style="list-style-type: none"> <li>パンダカード</li> <li>赤ちゃんパンダカード</li> <li>先生用赤ちゃんパンダカード</li> </ul>

<p>子どもたちに赤ちゃんパンダカードを優しく手渡す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>子ども達も抱っこや、いいこいいこして一緒に遊ぶ。</li> <li>「私の子供はいるかしら？」お母さんパンダカード登場。</li> <li>「私の可愛い赤ちゃんいらっしやい」等で、お母さんの腕の中に貼る。</li> <li>両面テープを剥がす際は補助しながら、お母さんに赤ちゃんパンダを貼る</li> </ul>	<p style="text-align: center;">保育士の役割</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>赤ちゃんカードを渡す</li> <li>赤ちゃんカードで一緒に遊ぶ</li> <li>言葉がけをする</li> <li>賞賛する</li> <li>カードを集める</li> </ul>
---	---

<p style="text-align: center;"><b>言葉カード</b></p>	<p style="text-align: center;">おでかけ (てぶくろ・マフラー・ぼうし・ブーツ・コート・リュック)</p>	<p style="text-align: center;">教材</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl;">活動内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>講：「こんにちは」男の子・女の子提示カード登場。 「これからお出かけするの」 「でも、そのままじゃおでかけできないね」等で、CDをスタートし歌に合わせてカードを見せる。</li> </ul> <p>♪おでかけ、おでかけ最初の物は何でしょう、ランランランランラララ〇〇〇♪ ♪おでかけ、おでかけ 次の物は何でしょう、ランランランランラララ〇〇〇♪ ♪おでかけ、おでかけ最後の物は何でしょう、ランランランランラララ〇〇〇♪</p> <p>※最後まで見ることが出来るようなら6枚のカードを使用する。 子どもの集中度によってカードの枚数は調整する。また、間奏の間に名称や色感覚のこぼれを添えながら進行する。 ※男の子・女の子カードを袋に貼り、中にカードを入れて出したりなど工夫する。</p>	<p>言葉カード 言葉カード台紙 言葉カードCD ★CDデッキ</p>
	<p style="text-align: center;">保育士の役割</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>一緒に歌う</li> <li>「あったかそう」「かわいいね」「皆も被ってきたね」など、言葉を添える</li> <li>台紙にカードを貼る</li> </ul>	

<p style="text-align: center;"><b>手遊び</b></p>	<p style="text-align: center;">『手をたたきましょう』</p>	<p style="text-align: center;">教材</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl;">活動内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>先生達が楽しく歌って手遊びを見せる。子どもに手を添えられるようなら簡単な動作は子ども達と一緒にやる。(動作は別紙&amp;Dropbox動画を参照)</li> </ul>	<p>手遊びCD ★CDデッキ Dropbox 動画&amp;別紙</p>
	<p style="text-align: center;">保育士の役割</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>一緒に歌う</li> <li>子どもの手を取り一緒にやる</li> </ul>	